

岡崎市歴史的風致維持向上計画 中間評価（案）に対する意見と市の考え方

意 見	市の考え方
1 ・リバーフロント地区の整備計画は、歴史的景観に配慮しながら進めてほしい。また、整備に伴う石像等の移設にあたっては、歴史を十分に検証してほしい。	・本計画の第3章において、「乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画（QURUWA戦略）」等を関連計画として連携・調和を図り、歴史・文化、自然が織りなす歴史的風致を活かしたまちづくりを推進しています。また、整備に伴う石像等の移設にあたっては、その歴史を十分に検証していきます。
2 ・市内に点在する遺跡や古墳群、淨瑠璃姫伝説、悲運の武将「岡崎三郎信康」など、観光資源として活用してほしい。また、家康の幼少期の石像を竹千代橋近くに建立してほしい。	・本計画の第7章に掲げる「文化財保存活用地域計画策定事業」等において、他部署と連携を図り未指定の文化財等の保存・活用や周辺環境の整備を引き続き検討していきます。
3 ・市内の歴史的建造物については、市が買い取り、整備し、地域住民を案内人に育成し、運営してはどうでしょうか。	・歴史的建造物の保存・活用については、行政によるものだけでなく、民間も含めた公民連携の中で行われるよう検討していきます。
4 ・額田地区の祭礼等について、情報発信を強化してほしい。	・本計画には「額田地区の山里のくらしにみる歴史的風致」を示しており、計画に沿って順次情報発信を行っていきます。
5 ・菅生神社の菅生祭りについては、「岡崎の祇園まつり」と銘打って誘客してはいかがでしょうか。	・今後の参考にさせていただきます。
6 ・地域の歴史文化資産の保存・活用などの方針を明確にしてほしい。	・本計画の第6章に記載のとおり、文化財及びその周辺環境の保存・活用を、まちなみの整備や後継者育成とともに実施していきます。
7 ・西大平藩陣屋や高隆寺の整備をするとともに、史跡案内の人材育成を検討してほしい。	・現時点では本計画に西大平藩陣屋や高隆寺の整備についての記載はありませんが、本計画の第7章に掲げる「案内人養成事業」等において、引き続き歴史案内を行う人材育成に取り組んでいきます。
8 ・岡崎市の観光案内等の印刷物の発行、バス等の交通や自転車道の整備をしてはいかがでしょうか。	・岡崎市の観光等の印刷物はこれまでと同様、観光振興の一つのツールとして発行し、バス等の交通については、公共交通マップの配布やバスのフリー切符の企画等により利用しやすい交通環境を整備し、自転車道については、鉄道駅や商業施設等が集積するまちなみの優先的な整備を方針としております。
9 ・市内の歴史的風致維持向上のためには、縦割り行政を超えて業務を推進し、市民が目に見える結果を示してもらいたい。	・府内体制及び国・県との連絡調整を図り、歴史的風致維持向上計画事業を着実に推進してまいります。
10 ・市内外の意見をくみ取りながら、歴史文化資産の活用を推進してもらいたい。	・市民アンケート等により市民の方の意見を聴きながら、歴史文化資産についての課題の把握及び施策の推進に一層努めてまいります。
11 ・自己満足の自己評価ではなく、第三者による評価を実施すべきである。	・「代表的な事業の質シート」に対しては、外部有識者、中間評価全体に対しては、学識経験者、関係団体及び行政関係者にて構成する岡崎市歴史まちづくり協議会から評価をいただいている。

※いただいたご意見は趣旨を損なわない程度に要約した箇所があります。